

個別の指導計画の作成と活用 及び 通常の学級との連携

北海道教育大学札幌校
山下 公司

本講義の流れ

- ・ 個別の指導計画の作成と活用について
- ・ 通常の学級との連携

学習指導要領における考え方

障害のある児童（生徒）などについては、家庭、地域及び医療や福祉、保健、労働等の業務を行う関係機関との連携を図り、長期的な視点で児童（生徒）への教育的支援を行うために、個別の教育支援計画を作成し活用することに努めるとともに、各教科等の指導に当たって、個々の児童（生徒）の実態を的確に把握し、個別の指導計画を作成し活用することに努めるものとする。特に、特別支援学級に在籍する児童（生徒）や通級による指導を受ける児童（生徒）については、個々の児童（生徒）の実態を的確に把握し、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、効果的に活用するものとする。

（文部科学省「小学校学習指導要領・中学校学習指導要領 第1章総則」,2017）

IEP 個別指導計画と個別の指導計画

個別指導計画（Individual Educational Plan）
従来の障害児教育の中で、子どもと指導者一対一の形態が主となる個別指導のための計画

個別の指導計画（Individualized Educational Plan）
学級での配慮、チームティーチングの指導、取り出し指導、特別な場での個別指導など、形態を問わない包括的な指導計画

↓

通級でのことだけを計画するのではない!!!
通常の学級ではどんな配慮が必要なのか…。

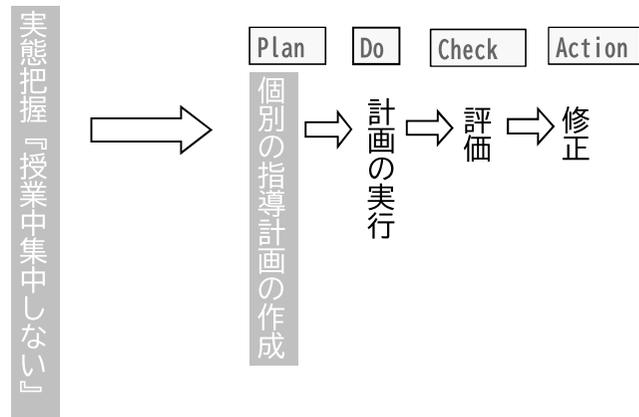
個別の指導計画の意義－教師にとって－



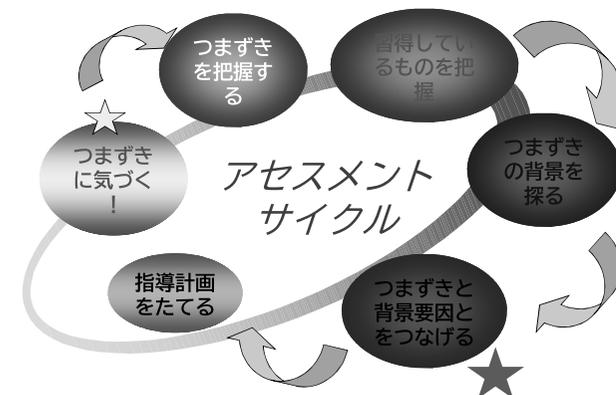
個別の指導計画の意義 －子ども・クラスにとって－



PDCAサイクル と言うけれど・・・



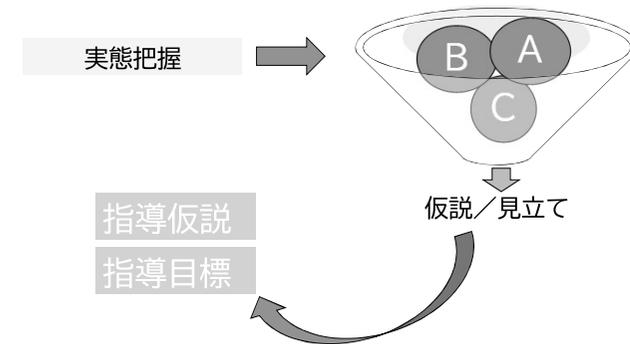
アセスメントから指導へ



個別の指導計画の内容

- 1) 実態把握・アセスメント
子ども（支援対象）の教育的ニーズの把握
- 2) 目標設定
 - ① 長期目標
 - ② 短期目標
- 3) 指導の手立て
- 4) 実行計画
- 5) 評価と修正

アセスメントから見立てを行う



長期目標と短期目標

長期目標 およそ1年
教育的ニーズに対応した目標や方向性
育てたい力や指導・支援の意図を明確に
「できる」「理解する」「応用する」
「使用する」等で表す

短期目標 学期毎・月毎
日々の指導の目標、行動目標 → 具体的
場面や条件の設定「〇〇の時に〇〇できる」
「〇〇の場合〇〇程度〇〇できる」

目標設定のポイント - アセスメントに基づいた設定 -

- 非常に具体的、段階的、明確
- 一定期間に達成可能
- 結果が見える
評価の基準を明らかに
- 優先順位を決める
緊急性、達成可能性
- 子どもが意識できる

流れ図 記入のポイント

②①で収集した情報を整理する段階

②-1 障害診断にとらわれず、実態を基に整理する。

②-2 困難さだけでなく、すでにできていることや支援があればできることも記載する。

②-3 生活年齢、残りの学校生活年数も視野に。
“卒業までに”と想定するのもあり。

項目	①-1 収集した情報 (①) を自立活動の区分に照して整理する段階
健康の保持	心理的な安定 ・朝起きで活動的であるが、絶えず、少ない自分を実感するような高直が見られる。 ・穏やかに話しかけると興奮することはない。
人間関係の形成	関係の記憶 ・書くよりも見ようという姿勢は強い。 ・人や物にぶつかると、道具を使用することが苦手なため、積極的に身体操作をすることに困難がある。
身体の動き	コミュニケーション ・用字の立書を覚えることが難しく、自分の興味・関心を優先してしよう。

流れ図 記入のポイント

③ 指導すべき課題を整理する段階
指導開始時点（年度初め）で課題となることを抽出する。

③ ①をもとに②-1、②-2、②-3で整理した情報から課題を抽出する段階

・自分の行動がどのような影響を及ぼすかを想像したり、周囲の人の連携や口頭等から読み取ったりして、適切に行動することやルールを守ることが難しい。(心・人・関)
・ルールは守れていても、よくないと気づいた時にすぐに諦めることがあるらしい。(心・人)

項目	①-1 収集した情報 (①) を自立活動の区分に照して整理する段階
健康の保持	心理的な安定 ・朝起きで活動的であるが、絶えず、少ない自分を実感するような高直が見られる。 ・穏やかに話しかけると興奮することはない。
人間関係の形成	関係の記憶 ・書くよりも見ようという姿勢は強い。 ・人や物にぶつかると、道具を使用することが苦手なため、積極的に身体操作をすることに困難がある。
身体の動き	コミュニケーション ・用字の立書を覚えることが難しく、自分の興味・関心を優先してしよう。

流れ図 記入のポイント

④ 抽出した課題同士がどのように関連しているかを整理し、中心的な課題を導き出す段階

課題同士を「原因と結果」、「相互に影響しあっている」などの関連で整理し、指導すべき課題を抽出する。
＜課題（困難さ）は複雑に絡み合っている。＞

項目	①-1 収集した情報 (①) を自立活動の区分に照して整理する段階
健康の保持	心理的な安定 ・朝起きで活動的であるが、絶えず、少ない自分を実感するような高直が見られる。 ・穏やかに話しかけると興奮することはない。
人間関係の形成	関係の記憶 ・書くよりも見ようという姿勢は強い。 ・人や物にぶつかると、道具を使用することが苦手なため、積極的に身体操作をすることに困難がある。
身体の動き	コミュニケーション ・用字の立書を覚えることが難しく、自分の興味・関心を優先してしよう。

流れ図 記入のポイント

④ 抽出した課題同士がどのように関連しているかを整理し、中心的な課題を導き出す段階

課題同士を「原因と結果」、「相互に影響しあっている」などの関連で整理し、指導すべき課題を抽出する。
＜課題（困難さ）は複雑に絡み合っている。＞

項目	①-1 収集した情報 (①) を自立活動の区分に照して整理する段階
健康の保持	心理的な安定 ・朝起きで活動的であるが、絶えず、少ない自分を実感するような高直が見られる。 ・穏やかに話しかけると興奮することはない。
人間関係の形成	関係の記憶 ・書くよりも見ようという姿勢は強い。 ・人や物にぶつかると、道具を使用することが苦手なため、積極的に身体操作をすることに困難がある。
身体の動き	コミュニケーション ・用字の立書を覚えることが難しく、自分の興味・関心を優先してしよう。

流れ図 記入のポイント

④に基づき設定した指導目標を記入段階

⑤ ④に基づき指導目標（ねらい）を設定する段階
1年間の長期目標と当面の短期目標を定める。
＜指導の「方向性を示す」とも捉えられる。＞

流れ図 記入のポイント

⑥⑦ ⑤の指導目標（ねらい）を達成するために必要な項目を選定する段階
6区分27項目から必要な項目を選定し、項目同士を関連付ける。
＜それぞれ単独ではなく、関連性を考える。＞

指導目標を達成するために必要な項目の選定	職業の保持	心理的な安定	人間関係の形成	役割の把握	身体の動き	コミュニケーション
(1) 職業の保持	(2) 心理的な安定	(3) 人間関係の形成	(4) 役割の把握	(5) 身体の動き	(6) コミュニケーション	

⑥⑦ ⑤の指導目標（ねらい）を達成するために必要な項目を選定する段階
6区分27項目から必要な項目を選定し、項目同士を関連付ける。
＜それぞれ単独ではなく、関連性を考える。＞

流れ図 記入のポイント

⑧ 具体的な指導内容を設定する段階
⑦で選定した項目と関連付けられる具体的な指導内容を設定する。
＜具体的に 何をするのがわかるように＞

⑧ 具体的な指導内容を設定する段階
⑦で選定した項目と関連付けられる具体的な指導内容を設定する。
＜具体的に 何をするのがわかるように＞

通常の学級との連携

連携って？

聞こえ心地はいいし、大事だと分かるけど…。

連携

連携をとるために

お互いが何をして

何ができて（できなくて）

得意なことは何か

どんな人か

を知る必要がある

ベースは個別の指導計画

個別の指導計画の作成の際に、
担任の先生にどう参画してもらいますか？

- ・通級で作成した個別の指導計画を まさか一方的に（？）送付して終わりではないですね？
- ・担任の先生が通常の学級で何を どう 指導・配慮すればよいか明確になっているか

連携するツールはたくさんあります。

連絡帳

メールなど

指導記録の交流

授業参観 ⇄ 指導参観

教材・教具の共有

事例を基に考えてみましょう

ありがとうございました。

質問等あれば
お願いします。



通級児童が描いてくれた似顔絵

E-mail : yamashita.koji@s.hokkyodai.ac.jp

参考資料

- 「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編」
文部科学省, 2018
- 「発達障害のある子へのやさしい「個別の指導計画」作成ガイド」
喜多好一, 齊藤代一, 山下公司, 明治図書, 2022
- 「S. E. N. S養成セミナー 特別支援教育の理論と実践 [第4版]」
一般財団法人特別支援教育士資格認定協会, 金剛出版, 2023
- 「はじめての「通級指導教室」12か月の花マル仕事術」
特別支援教育の実践研究会, 喜多好一, 明治図書, 2023
- 「[小学校] 通級指導教室担当の仕事スキル」
山下公司, 明治図書, 2024
- 「[中学校] 通級指導教室担当の仕事スキル」
監修: 川崎聡大 著: 三富貴子, 明治図書, 2024